

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係(☎52-2115)までお知らせください。

国民健康保健税

まちの話題・出来事

マイホーム
建設促進制度

カメラレポート

発信@みなくる

子育て支援センター

国民健康保健税

まちの話題・出来事

学校・地域の運動会

カメラレポート

教育委員会通信

こんにちは保健師です



苫小牧の中学生が農業を体験 (7月9日)

農業や地域の野菜を身近に感じてもらうと、下金山地区の農家6戸で構成する「夢香クラブ(長谷川由里子代表)」が苫小牧市内の中学2年生が行う宿泊研修の受入れ先となり、農業体験実習が行われました。

同クラブは、地産地消を推進することを目的に平成15年から活動を開始し、冬季間には地場野菜を用いた家庭料理の研究など行っています。今年で4年目となる受入れで、研修に訪れた37名の生徒の皆さんは6グループに分かれ、それぞれの農家のビニールハウス内で、ミニトマトの脇芽取りや収穫後のメロンのつるの撤去作業などで汗を流しました。

体験した生徒からは、「今回の体験を通して、農家の大変さがわかりました」と話してくれました。



組合員の「こころ」の贈り物(7月18日)

全日本自動車産業労働組合総連合会(西原浩一郎会長)による組合員76万6千人の「こころ」の福祉カンパ活動が行われ、この度「なんぷ〜香房森のパン屋」にパソコン2台が寄贈されました。

寄贈式では、自動車総連北海道地方協議会島山議長から施設利用者に手渡され、利用者から「お店のチラシ作りなどに活用します。ありがとうございます。」とお礼の言葉が述べられました。



セーフティーコール実施(7月19日)

行楽シーズンを迎えるこの時期に、ドライバーに交通安全や事故防止を呼びかける街頭啓発「セーフティーコール」が、交通安全協会や交通指導員、幾寅婦人会や幾寅老人クラブの皆さんにより「道の駅」駐車場で行われました。この日は、国道を通過する車両を駐車場に誘導し、「これからも安全運転を」と声をかけ、町特産「くまささ茶」やふくろうの「交通安全マスコット」をドライバーに配布しました。

全道陸上競技大会で大健闘(7月15日・16日)

(財)北海道陸上競技協会などが主催する第30回北海道小学生陸上競技大会が、千歳市の青葉公園陸上競技場で開催され、4年生男子の部の「100m」と「走り幅跳び」に道北予選大会で優勝した河原拓夢くん(幾寅小)が出場し、走り幅跳びで3m74cmを跳躍し第5位に入賞しました。



また、100mでは自己ベストの14秒79を記録しましたが、決勝(8名)進出はできず、第12位でした。

拓夢くんは「来年また全道大会に出場できるよう頑張ります」と力強く話してくれました。

夢あふれる絵本を載せて(7月19日)

講談社による「絵本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が幾寅・金山の両保育所を訪問し、絵本の読み聞かせが行われました。また、一緒に保育所に到着したキャラバンカーの中には楽しい絵本がいっぱいで、園児の皆さんは、早速屋外で読んでいました。



木田幸次郎の足跡を訪ねて(6月28日)

三重県松阪市の「平成30年松浦武二郎生誕200年記念への会」総勢39名の皆さんが本町を表敬訪問し、明治34年に伊勢団体を組織し、幾寅に入植した「木田幸次郎」の足跡を訪ねました。農業や林業において功績を残された木田氏は、現在の松阪市出身で、役場庁舎前には功績を讃え、「木田幸次郎翁頌徳碑」が建立されています。訪問に際し、幾寅伊勢の出身である佐々木薫さん(幾寅)や現在も木田家と交流のある秋元忠さん(幾寅)から木田氏の功績や伊勢地区の様子について説明されました。



わんぱくスイミング教室(7月7日・8日)

公民館幾寅分館主催で、小学生を対象にしたスイミング教室が開催されました。例年学校プールのオープンに合わせて実施し、今年は低学年を中心に32人の子どもたちが参加しました。水泳指導は、子どもたちの技術に応じてグループに分かれ、室内にはオープンを待ちわびていた子どもたちの楽しい歓声が響いていました。

富良野地域縦断「無事故の日」旗の波リレー作戦(6月25日)

本格的観光シーズンを前に無事故の日(6月25日)に富良野沿線5市町村のリレー方式(各市町村で時間差による)で旗の波作戦が、富良野地方交通安全指導員連絡協議会の主催により行われました。

本町においても町民体育館前の国道沿いにおいて、幾寅婦人会、幾寅寿倶楽部の皆さん約40名により、町交通安全協会でも新調した背中に「交通安全」と書かれた黄色の法被を羽織り、交通安全の啓発が行われました。



カヌー遠足でかなやま湖を満喫(7月5日)

下金山小学校と金山小学校が合同により、カヌーを通し、身近な自然に親しみと関心を深めることを目的にかなやま湖で、カヌー遠足を行いました。

はじめに、各学年の代表児童1名ずつ頑張りたいことや楽しみなことなどを発表し、講師を務める大野聡さん(金山)がカヌーの説明をし、全校児童がカヌーとかなやま湖の自然を満喫しました。

